



Title	大阪大学看護学雑誌 18巻1号 投稿規程
Author(s)	
Citation	大阪大学看護学雑誌. 2012, 18(1), p. 109-109
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/56731
rights	©大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

大阪大学看護学雑誌 Nursing Journal of Osaka University 投稿規定

1. 投稿者の資格

著者は大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻統合保健看護科学分野教官、大阪大学医学部附属病院看護部職員が含まれていること。但し、編集委員よりの依頼についてはこの限りではない。

2. 原稿の内容の枚数

- 1) 原稿の内容は総説、原著、研究報告、事例研究とする。
- 2) 原稿の1編は原稿の内容を問わず、原則として1200字詰10枚（図表を含む）以内とする。
- 3) なお、図表は、A4サイズ内に入る2つを1枚に換算する。
- 4) 他の出版物にすでに発表あるいは投稿されていないものに限る。

3. 投稿手続

- 1) 投稿原稿は3部（うち2部はコピーでよい）を送付する。
- 2) 原稿は封筒の表に「大阪大学看護学雑誌原稿」と朱書きし、下記に送付する。
〒565-0871 吹田市山田丘1-7
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
看護企画室内 看護学雑誌編集委員会

4. 原稿の締切および採否

- 1) 原稿の締切は9月末日（当日必着）とする。
- 2) 原稿の採択および論文の種類は査読者の査読を経て編集委員会で決定する。なお、査読者が論文としての採択ではなく、看護情報を広報するものとして掲載することが望ましいと判断したものについては、編集委員会にその旨を提案し、編集委員会において掲載が可能とされたものについては、原稿の内容によりその他（例：レター・記事）として掲載することもある。

5. 著者校正

著者校正を1回行う。但し校正の際の加筆は原則として認めない。

6. 原稿執筆の要領

- 1) 原稿は、A4版（40字×30行）で印字する。
- 2) 原稿には、400字程度の和文抄録とキーワードを4語

（日本語、英語）を付記する。

- 3) 外来語はカタカナで、外国人名、日本語になりきっていない外来語などは原語のまま表記する。
- 4) 図、表および写真は、図1、表1、写真1等の番号をつけ、本文とは別に一括し本文原稿右欄外にそれぞれの挿入希望位置を指定する。
- 5) 文献記載の様式
 - (1)文献のうち、引用文献は本文の引用箇所の右肩に1)、1~4)などの番号で示し、本文原稿の最後に一括して引用番号順に記載する。
参考文献は著者名のアルファベット順に列記する。
 - (2)記載方法は下記の例示のごとくとする。

①論文の場合	……著者名、年、題名、 雑誌名、通巻、頁
②単行本の場合（単著）	……筆者、発行年、書名、 都市名：出版社
	（共著）……著者、発行年、章のタイトル、編者名、書名、都市名： 出版社、頁
- 6) 論文の見出しに使用する番号は、I→1→1)→(1)の順に使用して下さい。
- 7) 原稿には表紙を付し、上半分には表題、著者名、所属を書き、その下に英語で併記する。（英文表題はすべて大文字とする。）また下半分には希望する論文の種類（原著・報告・事例研究・総説）および別刷必要部数を明記する。なお、カラー写真費、英文校正費、別刷りは全て著者負担とする。
- 8) 原著を希望する場合は、250語前後の英文抄録（ダブルスペースでタイプ）も付記すること。

7. この規定は平成17年4月1日より発効する。

付則 本規定は平成23年10月26日より実施する。

文献記載の仕方について、各々の投稿者によって、さまざまな様式で記載されているというご指摘がありました。具体的な文献記載の仕方については、APA format (Publication Manual of American Psychological Association)をご参照下さい。